

説教余滴、2018年1月7日、イベリア半島のスペイン

イベリア半島は、ヨーロッパ大陸の南西部で北方、ピレネー山脈で区切られた半島。西は大西洋、北はビスケー湾、東は地中海にそれぞれ面し、南はジブラルタル海峡でアフリカ大陸と隔てられている。**ポルトガル**は、イベリア半島の西端の大半を占める。首都はリスボン、美しい古都。大西洋の波が寄せる港湾都市。大航海時代発祥の地、エンリケ航海王子の像が立っています。

その北に位置するのが、**ガリシア地方**。サンチャゴ・デ・コンポステラ、「星空の平原の聖ヤコブ」を意味する都市の名です。聖ヤコブの遺骨がここの聖堂に葬られていて、ヨーロッパキリスト教を西の果てからしっかり守護してくださる、と信じられています。この教会には中世ヨーロッパ全体の信仰が集まり、サンチャゴ巡礼が盛んに行われました。

ガリシアの東は**アストゥリア地方**、南にレオン、その東にはブルゴス。

レオンは静かな地方都市ですが、市の紋章はライオンです。昔、ラミロスという王がいて、ライオンの旗印の下、侵略者サラセンを排除するために勇戦しました。スペイン語のレオンは獅子のこと。イスラムのサハ、ジブラルタルを通過して侵入しました。アンダルシアなど南の地方は征服されますが、レオン王国の頑強な抵抗もあり、北進は難渋しました。この時レオン軍を助けたのが聖ヤコブです。伝説では馬上の将軍となって現れ、イスラム軍五万を殺害。

東に移動するとそこは**バスク地方**。独特の文化を持ち、スペインからの独立運動が盛んでした。

更に**ナバーラ地方**、この辺りはフランス国境で、ピレネー山脈沿いの地域です。かつては、バスク・ナバーラ連合王国がありました。**673**

この南東が**アラゴン地方**となります。エプロ川が流れています。

15世紀、アラゴンのフェルナンド王子とカスティリアの王女イサベラが結婚して、カソリック両王の統治するスペイン王国が始まります。